

筒井道隆 / 細山田隆人 / 青井洋一郎 / 大森暁美 / 安部聡子 / 中嶋朋子(特別出演) / 鈴木ヒロミツ / 宇崎竜童 / つみきみほ

音楽 / PINK FLOYD「IF」、Ashley MacIsaac「MacDougall's Pride」、Carlos Núñez「The Rainmaker's Air」他、挿入歌 井上陽水「氷の世界」

原案 / 山上徹二郎 脚本 / 東陽一 撮影 / 高井孝洋 照明 / 武山弘道 録音 / 弦巻裕 美術 / 伊藤章雄 助監督 / 梅川俊明

製作担当 / 渡辺栄二 プロデューサー / 林三津良 製作 / 山上徹二郎・庄幸司郎 製作協力 / 衛星劇場 宣伝 / トキワ



1時間56分・35ミリカラー・ビスタサイズ 2000年 シグロ作品

第50回ベルリン国際映画祭正式招待作品

東陽一

監督  
作品

# ボクのおじさん

## THE CROSSING

おれがほんとに狂ったときには  
どうか頭はいじらないでほしい

PINK FLOYD 「IF」 (Atom Heart Mother)  
JASRAC 350001587-001  
"IF" by Roger Waters. (c)1970 by ROGER WATERS MUSIC OVERSEAS LTD.  
All rights reserved. Used by permission. Rights for Japan administered by  
WARNER/CHAPPELL MUSIC, JAPAN K.K. c/o NICHION, INC.





原案/山上徹二郎 脚本/東陽一 撮影/蔦井孝洋 照明/武山弘道 録音/弦巻裕 美術/伊藤章雄  
 助監督/梅川俊明 製作担当/渡辺栄二 プロデューサー/林三津良 製作/山上徹二郎・庄幸司郎  
 製作協力/衛星劇場 宣伝/トキヲ <http://www2s.biglobe.ne.jp/~siglo/>  
 音楽/PINK FLOYD『IF』 Ashley MacIsaac『MacDougall's Pride』  
 Carlos Núñez『The Rainmaker's Air』他 挿入歌/井上陽水『氷の世界』



通過儀礼なき今を生きる**14歳**の少年。都会の生活に苛立つ**29歳**のおじ。  
 ふたりの交流と現代の孤独 —— やがてそれぞれの旅がはじまる



■『サード』『もう頬づえはつかない』『四季・奈津子』『ザ・レイプ』『化身』……そして観客動員150万人の不朽の名作『橋のない川』、ベルリン国際映画祭銀熊賞他20か国以上で数々の映画賞に輝いた世界的名作『絵の中のぼくの村』——東陽一監督が渾心の力を込めて贈る最新作。

■『バタアシ金魚』の鮮烈なデビューから10年、個性派筒井道隆が若いおじさん役で主役をつとめ、オーディションで選ばれた映画初主演の細山田隆人がおいの役に競う。そして筒井の恋人役凛をつみきみほが好演。他に中嶋朋子、宇崎竜童、鈴木ヒロミツなど個性派の俳優が脇を固める。

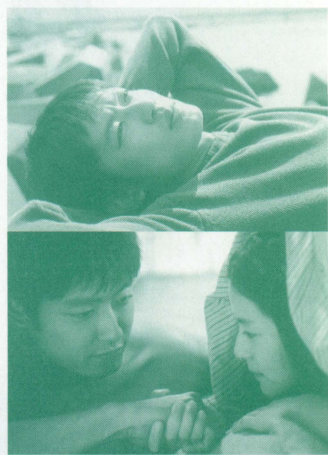
■ノーヘルの浩二が、ハーレーダビットソン・ローライダーを駆って高速道路を疾走するシーンに流れるのは、ピンク・フロイドの名曲『IF(もしも……)』『原子心母』より。日本映画でピンク・フロイドの楽曲の使用が許可されたのはこれが初めて。また、ケルトミュージックの新星アシュレイ・マックアイザック、カルロス・ヌニェスなど多彩で豊穣な音楽にも注目!!



東陽一監督作品

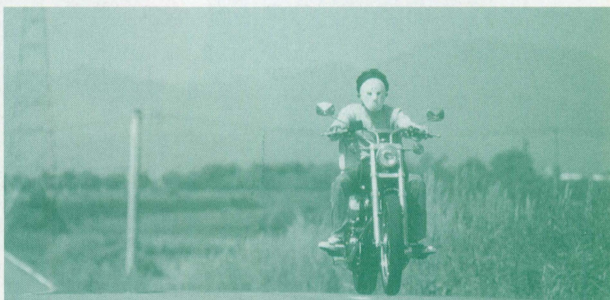
**ボクのおじさん**  
**THE CROSSING**

1時間56分/35ミリ/カラー/ビスタサイズ/2000年シロ作品



「陽光と緑が美しい。思春期に見た風景に無駄なものはないのだと気付かせてくれる」**篠田里香** プレミア日本版編集部 / 「父親=子という密着した関係とは一歩はなれたところに立つ『おじ』から見えてくるものがある。」**今村正樹** 借成社代表 / 「閉塞感、イライラ感、誰もが感じるけど、こちら側に踏み止まらなきゃね!」**村山加津枝** ライター / 「いまどきの『おじさん』のリアリティが、断片とノイズから立ちあがる。」**飯沢耕太郎** 写真評論家 / 「ボディブローのようにしみわたってくる味わいの深い映画だ。リピーターになりそう。」**木村裕一** 作家 / 「少年は刃物を手にひとを傷つけるけれど、少年の心も血を流している」**田島征三** 絵本作家 / 「東監督は、“いちばん日本らしい風景”=田園風景をこのうえなく美しく見せてくれます。」**川井英司** Comin' Soon TV / 「今にも心がつぶれてしまいそうになる瞬間がある、どうしようもなく。」**竹井正和** リトルモア代表 / 「規範なき“今”のあやうさを描きながら清々しい余韻を残す筒井道隆が狂気の手前での揺れを独特の存在感で表現」**佐藤美幸** 映画雑誌FLiX編集部 / 「大人だって、頼りないのよ。おじさん見てごらん。——でも、今、少年たちの心を開くのはこんな大人たちなのかもしれない」**松本侑壬子** ジャーナリスト / 「“東陽一的二千年のリアル”はハーレーの純正排気音とともにやってくる」**岡野吉成** ストリートバイカース編集部 / 「新人・細山田隆人の危うい魅力は、間違いなく映画を輝かせた。」**橋口亮輔** 映画監督

**STORY** ■東京のデザイン会社で働く川口浩二のもとに、ある日、故郷にいる兄の修一から二つの知らせがとびこんでくる。一つは父が死んだこと、もう一つは、兄の一人息子で中学生の拓也が、郵便局に強盗に入って警察につかまったことだった。■父の死と甥の犯罪。さらに、自分がかかえている仕事上のトラブル、恋人の凛との関係。さまざまな難問をもてあました浩二は、ある夜、酔っぱらって自宅で踊り狂う。保護観察処分となって帰宅した甥の拓也は、父親や「おじさん」の浩二に対しても心を閉ざし、強盗に入った理由もよくわからない。■父の納骨のため久しぶり訪れた生まれ故郷の村で、浩二は自分の少年時代を思い起こし、一人きりの時間を過ごす。日暮れの裏山で、浩二の気持ちを見透かしたように、仮面をかぶった不思議な何者かが近づいてくる……。■大雨の夜、拓也が一人、自室で本を読んでいる。その部屋へ忍び足でやってくる足音がする。やがてドアが開き、顔に白いマスク、ずぶ濡れのレインコートを着た男が飛び込んでくる。その手に、バタフライナイフが不気味に光っている……。



**6月17日(土)公開** (30日まで)

上映時間 ①11:15 ②1:40 ③4:05 ④6:30

初日に舞台挨拶の予定があります。詳細は劇場までお問い合わせ下さい。

前売券¥1500好評発売中 劇場窓口、市内プレイガイドやチケットぴあ、ローソンなどでお求め下さい。劇場窓口でお求めの方に、5種類の絵柄のポストカードから1枚、プレゼントいたします。(先着順につき、品切れの場合はご容赦下さい。)

心斎橋アメリカ村 BIG STEP 4F  
**パラダイスシネマ**  
 06(6282) 1460

日航ホテル	●そごう
心斎橋駅 ⑦出口 (OPA)	●大丸
BIG STEP 4F	●三和BK
お米ギャラリー	●周防町筋
東京三菱BK	